

# 衝撃の読書体験!

## #聖なるズー

濱野ちひろ『聖なるズー』

好評発売中●本体1,600円+税 集英社

◆Yahoo! ニュース | 本屋大賞 2020年  
ノンフィクション本大賞  
ノミネート

◆第19回 新潮ドキュメント賞 ノミネート

photo/Agency Animal Picture/Stockbyte/Getty Images

## 動物との性愛。 禁忌の先に、何がある?



7刷!!

犬や馬をパートナーとする動物性愛者「ズー」。著者は、世界で唯一ズーの団体があるドイツへ旅立ち、22人の当事者と出会う。そして彼らと動物との知られざる生活に密着し、人間にとって愛とは、暴力とは何かを問う。

第17回 開高健ノンフィクション賞受賞作

◆第42回 講談社 本田靖春ノンフィクション賞 ノミネート  
◆第51回 大宅壮一ノンフィクション賞 ノミネート

### 相手を尊重して 対等な関係であらうとすること

ズー(動物性愛者)のノンフィクションと聞いて、「怖い」気持ち悪い」と思う人がいるかもしれません。しかし、この作品に登場するズーたちにとって、セックスをするかどうかは、実は重要ではありません。彼らは自分の性に悩みながら、いかに愛する動物とともに生きていくのか、深く考えている人たちです。

濱野さんは、ズーたちの家を転々としながら、何日にもわたって生活をともにし、対話を重ねます。そして、相手を尊重して対等な関係であらうとすること、お互いの関係の中から生まれる相手の「パーソナリティ」を大切にすることを見出します。

動物性愛という先進的な愛の先に見えたものが、ある意味とても「保守的な」愛だったという事実は、とても衝撃的です。社会の常識を、一つひとつ丁寧に解きほぐしながら、パートナーとの向き合い方に新たな光をあてたこの作品。読んだ後、大切な人や動物との向き合い方がきつと豊かになるはず!

編集担当 森山聡平

(集英社クリエイティブ)